

## 葬式男（仲の良かったクラスメイト、2年前同窓会であったきりだった）

……はあ、はは

久しぶり

何時間もバスに乗ってき、やつとついたよ

みんなのご焼香終わって最後になっちゃった

……バス乗ってるときき、ずーつとお前のことを考えてた

こんなにお前のことを考えたのなんて、初めてだよ

ははっ、なんかこういうと、ちよつとキモいな（照れる感じ）

でもさ。みんながお前の話なんかせずに同窓会みたいになつてんの聞いちゃったんだよね

そうおもうと、最後で良かったかなって

俺は最後くらいちゃんと、お前と向き合いたい

一人の人間とちゃんと向き合うとするって難しいな

お前はもう死んでもう死んじゃってるし

結局おれは記憶の中のお前と向き合った気になって、勝手に気持ちよくなってるだけかもしれない

それが不快だったら、じゃあさ、今度夢枕に立ってくれよ

一方的にこれから俺が話した分、お前も俺に沢山喋ってくれればいいんだよ、な？

色んな人々とこ行きたいんじゃないか？いろんなたびに手も出られるだろう

行きたいところ、好きなどこ行っちゃえよ

そんでき、最後の、あー

だから、うーん、さあ

四十九日の終わりの方にでもふらつと立ち寄ってくれよ

お前の好きだったものの、窓辺にいくつか置いておくな

幽霊になったらどこへでもきつと行けると思う

俺はそう信じてる

俺は仏教徒じゃないけどさ、高校は仏教のがっこうでさ

っていつてもそんなガチガチじゃなかったけど

輪廻とかさ、そーゆーの、南無阿弥陀仏とか唱えちやつたりして

今となつたら全然覚えてとかないけど 色即是空くらいかな 語呂がいいだろ？

だから薄らばんやりの、なんとなくの仏教を軸にして話すけど、ガチでやつてもいないからお前の

のしゅーきょーの価値観と違ったらごめんな

四十九日つてのはさ、死んだ人のこれからの行先を決める日なんだ

四十九日間、故人の、つまりさ、おまえの命はこの世のどこかを揺蕩ってるんだけど、

その日はいいよ次にどんな世の中に行くか決まる日なんだ

その間俺たち、祈る側、お前を大切に思っていた奴らがさ

なんかこう、いいこととして、お前が少しでもいい生活が空でできますよーにつてやんの

はは、でも今更っちゃ今更なのかもな

俺たちがお前を引き止めただけで、だからせめていいことしようってゆーさ  
まあ俺はあの頃までのお前しか知らないけど、お前は俺たちの祈りなんかなくても  
あの世で十分やっていけると思うんだよな

お前は頑張ってた

俺は、知ってたよ

あの世って楽しいのかな

死んだその先、って見たことも聞いたことないからさ

そりゃ、宗教画なら見たことあるけどアップデイトされてなくて江戸とか平安じゃん？

やつぱお花畑とか広がってて、静かだけど心が豊かな感じかな

生きてるって乱雑でごちゃごちゃだろ？

俺は死のその先にもなんか楽しいものがあるような気がしてんだよ

：お前はと思う？

なあ、どうしてお前はもう生きてないんだろう

俺誰かが死ないと何にもわかんないくらいバカだったのかな

目を逸らし続けてた こわいよ

だって死と向き合うなんてさ 一番近くにある非現実じゃん

生きてるんだから、死について考えるなんて自分から恐怖に近づくようなこと なるべくしたくないだろ

死について考えたことがないかって言われればおれだつてあるよ

でもそういうことができるのは中心とか高心とか、無駄に体力が有り余って暇でしようがない、無

邪気に死と立ち向かえる若い時だけなんだ

死が夢からいつからリアリティに変わる

：大人になっちまったなあ

はは、なみだがでる、なみだがでちまうよ

酒でも飲んでなきや、さ、やってらんないよ

ああ、ああ：はっ（自嘲気味に笑う）

おれもあいつらも弱いんだよ、な

だから目を逸らしたくて酒飲んで昔の話して、今を埋め立てるんだ

会えなかった期間、思い出しもしなかった互いを愛してるって言いたくてたまらない

ここにいる証明が欲しくて、生きてるよって言って欲しくてたまらないんだよ

おまえの死を、俺たちのために使っちゃったみたいで、ごめんな

でも、ほんとにおまえがいけないことがかないよ

ずっとLINEの向こう側に、卒業式から開きもしない卒アルの写真の向こうに、

ずっとおまえを感じてたんだ 信じてたんだよ、ずっとそこにあるって

なあ、おとなになるって寂しいなあ

生きてるって難しいよ

答えてあるのかな

ああわかんねえよ

お前にはわかってたのかな

まあ。いいか。今度あったら、教えてくれよ

それまで、じゃあな  
またいつか

## 無意識に救っていた親戚の泣き虫な野球少年

…なあ、ごしょーこー、ってどーやんだっけ（つつけんどんにぶすくれた感じで）  
前教えてくれたのは、あんた、だったよな

また教えてくれよ

ばかだなあって笑ってくれてもいいからさ、うつく、  
せ、せいちょうが、なあないねってばかにするんでもいいからさ  
声、声聞かせてよなあ…ぐうつ（泣き始める）

あんたのせいで、おれ、また泣き虫に逆戻りだようつ…  
うつく、も、もう

おれ、泣かないって、強くなるって

あんたと約束したんだ

あの日から強くなろうって

あんたの小指の力の強さっ、覚えてんだ

お、れのまだ、ほそかったさ

指にあんたの指が絡んでさ

約束したじゃんかあ…

なんでやぶんだよ、おとなっていつもそうだ！  
理論並べてどうせ忘れる、どうせどうせって  
自分たちに都合のいいように世界を作って

そのくせ俺たち子供のことつなぎとめておこうとするんだ  
鎖に繋いどいて、必要なときは取り出せるようにさ

卑怯だよ、あんたら…うう

あんたさあ何で死ぬんだよ

おれのこと応援に来てくれたことなんかねーじゃん  
まだおれのこと見たことなかったじゃん

もう俺の事見に来れねーじゃん

空から見るとかさ、チンプなんだよ

みてるなら、声を上げて、俺を応援してくれよ

もう聞こえねえんだよ

あんたの声に、意思に、救われてたんだよ

あんたが俺にかけた鎖に

一度の指切りに

それなのに、それなのによお！

ぐうつく……っは

はは、体ばかり大きくなつて心はまだこんなにチイセエンだ  
はずかしいよ、俺自分がスつごく

っは、うつ……く……（涙をしばし流し、一呼吸）

もう、泣くのやめる

何回めのせんげんだって、話だけど。

今度こそ、まじだぜ。

妹の結婚式だつて、もう誰の葬式だつて泣かねえよ

泣くことで強くなれるならいくらだつて泣けるけど、

そんなわけないもんな

涙はやすまずにつくられんだ、あくびしたつてでちまうような、そんなものに価値があつてたま  
るかよ

おとなつて嘘つきだな、やつぱ

（涙を堪えつつ）いくら泣いたつてまた水飲んで日が経てば涙は溢れる

そんなものに価値なんてねえよ

価値なんてねえ……、もう、ねえよ

人のためになくのは、もうやめる

それが強さなんだ……俺の。

今更、涙に意味なんてない

もうだしつくちまつた

水飲んで寝ればまたつくられちまう

でもそれはただの生理現象で、おれの気持ちはちつとも溶けたりしないんだ

心はずつと変わらずにある

おれは、おれはたぶんあんたに変えられて、

そつから、最初のおれからバラバラにされてつたんだな

おれは変わったんだ、おれも、死んだことがあつたんだよ

でも生きている、おれは生きていかなきゃ、ならねえんだよなあ……

助けなんていない

助けられてもやらねえ

でもな、俺は一人じゃない

この世界にたくさん友達がいる

俺はあいつらのために、絶対泣かない

それが俺の強さだ

それが俺の、誓いなんだ

分かり合えなくていい

辛くなんてない

俺の世界はもう汚れない

視界はいつだって良好だ

毎秒世界を知れるんだから、俺は最強になれるんだぜ

わすれようとするほど、思い出は深くなる

あんたは、おれの、いい思い出なんだ  
だから、消えや、消えやしねえんだよ

最低だよあんた、！未来あるおれにこんなもの残してくれちゃつてさ、っはは

おれは、泣きそうになるたび、あんたのことを思い出す

涙を飲み込むたび俺は、俺の中でのあんたのそばで強くあれるんだ

俺はあんたに救われたけど、あんたに呪いもかけられちまったんだよ

あゝあ、やつぱおとなつてろくでもねえな

最低だよ…いい思い出になんかならねえ

あんたの人生へのはなむけ、俺の最後の涙

お釣りが出そうなもんだぜ

なああんたになにが返せる？

もうなにもできないっ、あんたにつ

くっう…

だから。だからせめてさ

なあ、おれのこと、空からみててくれよ…（声がちよつと震える、最後の涙を流す）

## 〈スラム街を行きぬくお兄さん〉

あ、なんだようやく死んだのか  
やっと見つけたらこの有様か

きつたねえ

あーでもお前にはお似合いかもな

はん！（そこらへんに大胆に腰掛ける）

ふー……（タバコを吸う）

いきるってのは、大変なんだよ

お前もおれなんかと出会っちゃまって運の尽きだったな信じる人間間違ってたんだよ  
マジで見る目がねえなあ、ごしゅーしょーさまってこって

気持ち的にはあーうん、見事になんもねえな

お前っておれの中になーんも残してねえのかな

はは、お前の命ってなんだったんだろうな

なあ？生きてて楽しかったか？

天国は見えっか？…なーんてな

そんなもんありやしねえんだよ

人間なんて、どっかしらろくでなしな生きものにそんなもん与えられてたまるかよ

第二の命なんてまっぴらごめん

一回こっきり、それが全てだ

っふー…（タバコに火をつけて一口煙を吸い込む）

死体に何語ってんだろ 焼きでも回っちまったかな

はあ、葬式、なんてめんどくせえものやってらんねえし

そもそもこのスラムにやあそんなもの必要ねえのかもな

でも、ま

このタバコ吸い終わるくらいまではお前のこと覚えててやるよ

ああ、まっじい…

当分吸い終わってもこの味は忘れられないぜ

## 居候DVヒモ男

何勝手に死んだよ！

しばらくいなくなつたと思えばよ

俺にどれだけ迷惑かければ気が済むんだ

お前を信じた俺が馬鹿だった、勝手に死ぬとかあり得ねえ

この馬鹿、頭おかしいんじゃないの。

偉そうに俺に意見したまま逃げやがって。

ほんと最後まで能無しだな、俺一人、生かすすべ残せねえなんてよ

ほんと常識ねえな、普通言わなくてもわかるだろ

死ぬ気でやれつて言つたからつて死ぬやつがあるかよ

お前の金ないと俺明日からどうやって生きてけばいいんだよ

もうすぐアパートも追い出されちゃうじゃん

なあ、なあ、なあ！！

お前は頭が悪いんだから、俺が言った通りに生きてればいいんだよ

お前ほんと役に立たねえ 最後までほんと……

もうチャンスくれねのかよ

優しく、優しくなりたかった

お前のこと、俺なんか、俺なんか人生使ってるお前のこと馬鹿にしてたけど

俺、ほんとはお前に救われてたんだ

生かされてたんだよ……

頭おかしいのは俺の方で、  
能がないのも俺なんだ

わかつてる、

わかつてるんだよ

でもお前に指摘されるとカアつときて

言ってくれるウチはまだ良かったんだ　その頃気づければ

だんだんお前が何にも言わなくなつて、

俺は本当に愛されてるんだつて

愛つてのは何もかもゆるすことだと思つてた

違う、違う、わかつてる

でも知らなかったんだよ　誰も教えてくれなかった

はっ…！お前を殺したのが、俺じゃないなんてさ、シンジらんないよ

俺に殺されててくれれば、いや本当は、生きてて欲しかったんだ

生きて俺のそばで笑つて欲しかった

でも大切なものをどう扱えばいいのかなんて知らないし

俺のコミュニケーションで感情をそのままお前にぶつけることだったんだ

子供かよ　ほんと呆れる

言い訳ばかりだ　後悔しかねえ

だから俺を置いていったんだろ　なあ、ひどいよ

一緒に、一緒にさあ　夢だつてあつたじゃん

あのへやで二人で見た夢、もう抱えらんねえよ

どこにいけないんだ…

お前は本当に俺の光だったんだなあ

ほんと馬鹿だ俺

お前の代わりなんてどこにもいないのに

失つて初めて気づくなんて、ほんと馬鹿すぎ

自分が恥ずかしいよ

最低で、どうしようもない

化けて出てもくれないんだろう

俺なんか忘れて幸福になるんだろう

俺のこと、もう忘れて天国で幸せになつてんだろ

なあ、ごめん、ごめんな、ごめんなさい

忘れないで。俺を、愛して。

本当の俺を見つけ出して欲しかったんだよ

お前のことちゃんと正しく、間違いなく愛していたかった

やり方が本当にわからなかった　受け止めてくれるからそれを愛だと勘違いしてた

そんなわけない　お前に与えられるので幸せになつてた

俺もお前に返したかった　どうすればよかったんだろう

なあ助けてよ、いつもみたいに　俺のこと、諦めないでくれよ

ああ、幸せになりたかった、お前と…



葬式男へアルバイトとしてなく仕事をしてるけど、最後に故人の顔見たら知り合いのところだった場合

うう……うわああ、うう、クッううわああ……（大袈裟にしばらく泣く）（ループ）

お疲れ様でした……、あの、最後に故人様のお顔を拝見してもよろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。

…はっ、嘘だろ。は、は……悪い予感で当たるもんだなあ。な、故人様。っ……あ、つつく（静かにバレないようになく）

（深呼吸、囁くように）今までお疲れ様でした。俺の涙、おいしかったか？

## 葬式前トラック

男

久しぶりのお前と会えて楽しかったよ　じゃ、また！お互い頑張ろうな　明日からは仕事か　俺たちも、大人になったもんだよなあ　酒の味なんて覚えちゃってさ　あの頃は購買の、スーパーじゃ売ってないようなメーカーのジュースで語り合ったもんなあ　ふは、懐かしー　ぜんぶいい思い出だよ

野球少年

ああ、ありがとう。俺ようやく自分がどうしたいのかわかった。やるべきことはちゃんとやらないと、自分に嘘つくことになるもん。おれ、いつかあんたにこころからカッコイイって、ほめられたい。うん、じゃあおれ帰ったらすぐ素振りする！千回！今度あったらちゃんと褒めろよな！

スラム街

なに？

おれについてきたいって？

ガキのお守りなんてやらねえよ、金持ってるのか？

は！ねえんだろ

勝手に生きて、勝手にのたれ死ね

……なに突っ立ってんだよ、おれについてきて、死にてえんだろ

別にそこで死んだっていいがな  
ふん、かつてしろ

おまえは自由なんだからな

〇

黙ってねえでなんとか言えよ

あ？知らねえよそんなの

は、出てくってどこに？

お前に居場所なんてあるのかよ

役立たずのお前に？

お前にはここ以外ねえんだよ

……あ、どこにいくんだよ！

なんであいつはいつもおれをわかってくれないんだろう  
愛してるのになあ

どこ言っただら、あいつ

ま、いつも見たいに数時間もすれば帰ってくるか

それまで寝よ。ふああ……

泣き男

俺、ちよつと変わった仕事しててさ。

泣き男っていうの。聞いたことある？

まあ世の中的には、泣き女のほうがポピュラーなんだけどさ

あ、そっちも聞いたことない？

まあ零細企業、とも言えないか一応伝統だしね

死者にとってのご馳走になる涙をあげる大切なお仕事。

でも俺を葬式に呼ぶことになったらちゃんと知り合いとして呼んで  
くれよ

香典も持つてくからさ

いた！殴ることないだろう、いつかみんな死ぬんだからさ。

だから、な。ちゃんと葬式には泣きに言ってやるから、俺が自腹  
きってさ

だから殴るなって！いて、俺が悪かったから！